

# 牧師所感：止揚学園と八街教会 —社会福祉法人×キリスト—

筆者は満70才になって、在日大韓基督教会を定年退職（教団規約）した引退牧師である。ところでまだ余力があるので、千葉県の八街市に開拓して教会を建立（単立）することとなった。早や教会創立24年を迎えて、感謝の記念礼拝をお捧げしたのが昨年（9月）であった。

ところで創立以来、キリスト教会において、主な祭日（クリスマス・復活とその他）には各機関から援助要請の振替払込請求書が配達されて来る。

さて当教会では信徒の数は非常に少ないのであるが、牧師は振替払込請求書をごみ箱に捨てたことは一度もない。力の限りを尽くして援助に答えてきたのである。

昨年 2024 年クリスマスには、各機関に贈り届けた総金額は 130,000 円であった。ところでこの金額は当教会の数人の信徒が捧げたクリスマス献金である。クリスマス献金だけは、一銭も当教会の経常費としては使うことなく、救済に廻してきたのである。

ところが、金額を受け取った各機関では感謝の返信を送って來るのである。久しい間、滋賀県に所在の社会福祉法人 止揚学園では特に 学園長 名義で、受領感謝状を送って下さる。今まで久しい間、心を込めて送って下さったのである。  
ここ 茲に 感謝状を添えて 読者諸賢の皆様に 御紹介する次第である。

